

報道機関各位

職員満足度(ES)向上で、選ばれる北九州市役所へ！

～市の将来を支える人材の獲得は、働きやすく・働きがいがある職場づくりから～

生産年齢人口の減少や民間企業の採用強化等の影響により、北九州市職員採用試験の競争倍率は低下傾向が続いており、人材確保に向けた一層の取組が求められています。

北九州市役所では、これまで以上に、学生や仕事を探されている皆さんから「選ばれる」就職先となるため、現に働く市職員が、「働きやすく」「働きがいのある」職場であると感じる取り組みを、ハード・ソフトの両面で進めていきます。

また、令和7年度採用試験について、人材確保強化に向けた見直しを実施します。

具体的な取組内容については、別紙のとおりです。



【問い合わせ先】

総務市民局人事課 TEL:093-582-2203

担当課長:柳井 担当係長:明石

選ばれる北九州市役所へ

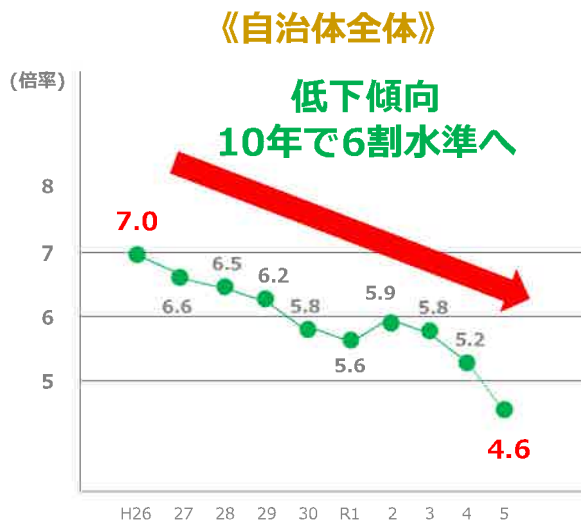
北九州市役所
ES向上元年

+

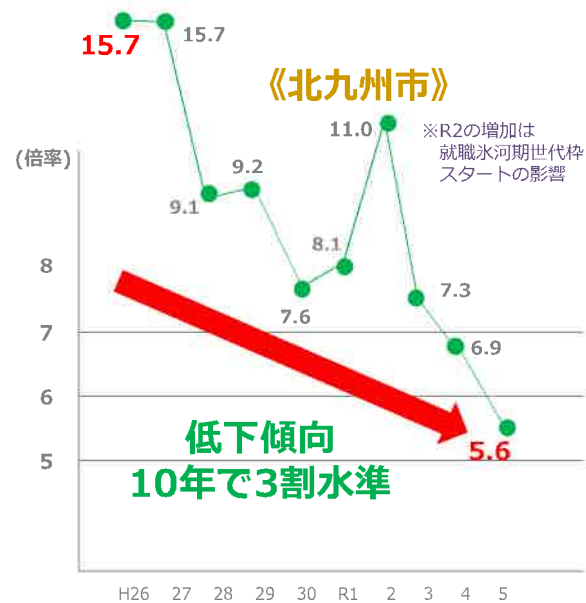
採用試験
の弾力化



採用試験競争倍率推移



※出典：総務省自治行政局公務員部公務員課
「令和5年度地方公共団体の勤務条件等に関する調査結果(抄)」



※一般行政職（医療職・消防職等を除いたベース）

- ✓ 職員一人ひとりが仕事に誇りとやりがいを持ち、自身の力を最大限発揮できる働きがいがある・働きやすい職場の実現
- ✓ 北九州市の将来を支える人材の獲得

職員満足度の向上

(Employee Satisfaction)



“ES向上元年”(2025年)

- 1 オフィス空間のリニューアル
- 2 作業服のリニューアル
- 3 カスハラ対策ガイドラインの策定
- 4 週休3日制 (フレックスタイム)の導入
- 5 職員クレジット (行動指針)の策定 など

(所管課：総務市民局・人事課)

熱意を持って業務に取り組む職員に光を!

◆ 職員インタビュー「STORY」連載

“職員の共感や連帯感を醸成”

STORY2 まちづくり課 池田 春美

まちづくり課 池田 春美

●職員の仕事について
まちづくり課では、市民生活の向上や地域の活性化を図るため、まちづくりの推進に取り組んでいます。具体的には、まちづくりの推進や、まちづくりの推進などに取り組んでいます。

●仕事に対する思い
まちづくり課では、市民生活の向上や地域の活性化を図るため、まちづくりの推進に取り組んでいます。具体的には、まちづくりの推進や、まちづくりの推進などに取り組んでいます。

●今後の目標
まちづくり課では、市民生活の向上や地域の活性化を図るため、まちづくりの推進に取り組んでいます。具体的には、まちづくりの推進や、まちづくりの推進などに取り組んでいます。

ALL FOR KITAKYUSHU CITY

STORY1 子育て支援課 尾場 純一

子育て支援課 尾場 純一

●職員の仕事について
子育て支援課では、子育て支援の推進に取り組んでいます。具体的には、子育て支援の推進や、子育て支援の推進などに取り組んでいます。

●仕事に対する思い
子育て支援課では、子育て支援の推進に取り組んでいます。具体的には、子育て支援の推進や、子育て支援の推進などに取り組んでいます。

●今後の目標
子育て支援課では、子育て支援の推進に取り組んでいます。具体的には、子育て支援の推進や、子育て支援の推進などに取り組んでいます。

ALL FOR KITAKYUSHU CITY

1

オフィス空間のリニューアル



- ・オフィス環境の改善とICTの活用により新しい価値の創造や豊かな発想を育む職場空間へ！
- ・デジタルを活用したペーパーレスな働き方を推進！

本庁3階(政策局・危機管理室)
令和7年1月より
供用開始！！



2

作業服のリニューアル



若手技術職員の企画からスタート！



思いをカタチに！
若手職員自らデザイン！

“約35年ぶり”

COMING SOON!
3月末に発表予定！！



3

カスハラ対策ガイドラインの策定

■ 主な報告事例

- ・ 度重なる要求や長時間の苦情
- ・ 同意のない動画撮影、SNSへの掲載
- ・ 個人的な攻撃や市の業務とは関係のない苦情

ある所属の聞き取り調査では、95%の職員が「著しい迷惑行為を受けた、又は、見た経験がある」と回答



ガイドラインの策定

R7年2月施行

“組織的対応で職員が安心して働ける職場へ”

- ・ 事前の体制構築から事案発生後のフォローまで
- ・ カスタマーハラスメントをタイプ別に分類し、対応フローを整理



4

週休3日制 (フレックスタイム) の導入

- ・ 単位期間：1～4週 (1週間平均38時間45分)
- ・ 勤務時間：7～20時 (コアタイム10～15時)
- ・ 週休日の追加：1週間に1日設定可能



令和7年1月20日～



5

職員クレド(行動指針)の策定

COMING SOON!
3月末に決定予定!!

最終案

Let's 感動! Let's 考動!
(さあ、感じて行動しよう! 考えて行動しよう!)



Kitakyushu
Action!
動かせ、未来。北九州市



北九州市職員クレド(行動指針)

市民の感動を生み出そう

挑戦は成長のはじまり

オープンマインドでいこう

- ・新ビジョン実現に向けた職員のマインドセットや行動のベクトルを明確化
- ・プラチナ市役所PTによるワークショップや
庁内パブリックコメントなど、職員全体でつくるプロセスで策定

このほか、広範な取組が進行中!!

【2025年より】

- ◆ 職員エンゲージメントサーベイの試行実施 ※1月～
- ◆ 「ESポータルサイト」の開設 ※2月～
- ◆ 職員カフェテリアのリニューアル ※夏頃予定

【2024年より先行スタート】

- ◆ 1on1 ミーティングの拡充 ※4月～
- ◆ 職員インタビュー「STORY」連載 ※7月～
- ◆ キャリア支援アプリ「職員キャリアナビ」運用開始 ※9月～
- ◆ ノータイ・ノージャケ・ノーカラ- (軽装化) ※12月～

熱意を持って業務に取り組む職員に光を!

◆ 職員インタビュー「STORY」連載

“職員の共感や連帯感を醸成”

STORY2 まちづくり 市民生活・まちづくり部 市民生活課 市民生活係 市民生活係長 池田 春美



市民生活係長として、市民生活課の業務を統括して取り組んでいます。市民生活課では、市民生活の向上を図るため、様々な施策を実施しています。市民生活係長として、市民生活課の業務を統括して取り組んでいます。市民生活課では、市民生活の向上を図るため、様々な施策を実施しています。

市民生活係長として、市民生活課の業務を統括して取り組んでいます。市民生活課では、市民生活の向上を図るため、様々な施策を実施しています。市民生活係長として、市民生活課の業務を統括して取り組んでいます。市民生活課では、市民生活の向上を図るため、様々な施策を実施しています。

STORY1 子育て支援 子育て支援課 子育て支援係長 尾場 純一



子育て支援係長として、子育て支援課の業務を統括して取り組んでいます。子育て支援課では、子育て支援の向上を図るため、様々な施策を実施しています。子育て支援係長として、子育て支援課の業務を統括して取り組んでいます。子育て支援課では、子育て支援の向上を図るため、様々な施策を実施しています。

子育て支援係長として、子育て支援課の業務を統括して取り組んでいます。子育て支援課では、子育て支援の向上を図るため、様々な施策を実施しています。子育て支援係長として、子育て支援課の業務を統括して取り組んでいます。子育て支援課では、子育て支援の向上を図るため、様々な施策を実施しています。



(所管課：総務市民局・人事課)

職員のエンゲージメントを見える化！ “『職員エンゲージメントサーベイ』試行実施”

R7/1



- ・質問項目は、仕事や職場・上司・成長支援・新ビジョンなど、職員の働く環境全般
- ・職員がどう感じているか現状を把握し、今後の仕事・職場環境の改善につなげる



(所管課：市長公室・マーケティング課)

職員向けトップメッセージ・最新の市政情報の共有など！ “「ESポータルサイト」の開設”

R7/2～

- ・市政の動きを市長自ら伝える「Monthly市政Report」や「市長からの手紙」等のコンテンツを集約したサイトを開設
- ・今後、ES向上の取組に連動して内容を拡充



市役所内に市民も利用できる安らぎのスペースが誕生！

“職員カフェテリア（本庁地下1階）のリニューアル”

（所管課：総務市民局・給与課）

COMING SOON !
R7夏頃予定



（イメージ画像）

“現在、リニューアルオープンに向け工事中”



職員と所属長の対話を強化！

“1 on 1ミーティングの拡充”

R7/4~

（所管課：総務市民局・人事課）



- ・年2回から4回へ拡大！
- ・フィードバックを強化し、職員の成長を支援
- ・所属長への研修で面談技術向上を支援



全課長対象研修の様子

（所管課：総務市民局・人事課）

若手職員の「あったらいいな」をカタチに！

“キャリア支援アプリ『職員キャリアナビ』運用開始”

R6/9~

- ・市役所各部署の業務や組織情報を職員に向けて発信
- ・職員のキャリアデザインや、やりたい仕事探しの支援アプリ

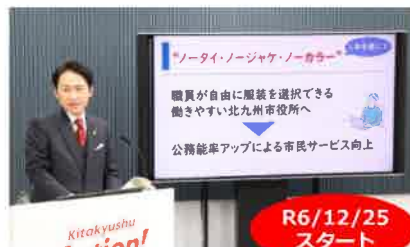


(所管課：総務市民局・人事課)

オフィスカジュアル等のTPOに合わせた通年の軽装化
“ノータイ・ノージャケット・ノーカラー”



・職員が自由に服装を選択できる
働きやすい北九州市役所へ！



採用試験の弾力化

令和7年度は
採用試験もさらに進化させます!!

技術職の採用確保

→ “技術区分(土木・建築・電気・機械)”の採用方式を多様化・弾力化!

- 上級区分の受験可能年齢を「20歳から」に引き下げ(大学3年生から受験可能)
- 大学院進学者の採用の猶予(最大2年間)
- 先行枠で「土木」に加え、「建築・電気・機械」も受験可能に
 - ・ 大学3年生で、次年度在学予定の方が合格した場合、採用は原則として令和9年4月となります。

即戦力採用の強化

→ “行政実務経験者”区分を新設!

政令市初!

- ウェルカム区分・・・国・都道府県・市町村経験者
- カムバック区分・・・北九州市役所を離職した方

- ・ 5年以上の公務経験
- ・ 年齢制限:採用時年齢61歳以下
- ・ 別途選考により退職時より上位の職位で採用する場合もあり

選ばれる北九州市役所へ

北九州市役所
ES向上元年

+

採用試験
の弾力化



報道機関各位

縦割り文化を打破！新オフィスはオープンフロアで交流促進 ～北九州市庁舎3階リニューアルオフィスプレスツアーのお知らせ～

北九州市役所では、「働きやすく」「働きがいのある」職場に向けて、令和4年度からオフィス改革を推進しており、このたび、3階の1フロアをリニューアルしました。

リニューアルにあたっては、本庁舎で働く職員へのアンケート結果や新ビジョンを踏まえつつ、職員との協働によって、これからの働き方を検討し、その働き方を可能とするための工夫を凝らしました。また、レイアウトや運用ルールについては、3階各局の若手を中心としたプロジェクトチームが主体となり、話し合いを重ねながら作成しました。

つきましては、下記の日程で新オフィスを紹介するプレスツアーを実施しますので、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。

1 取材について

日時：令和7年2月6日（木）市長定例会見後（30分程度）

場所：北九州市政策局（北九州市庁舎3階）※エレベータホールにお越しく下さい。

■当日の次第

(1) オフィス改革の取組の説明（5分程度）デジタル市役所推進室

(2) オフィス見学・各スペース説明（15分程度）政策局

※取材後、質疑応答の時間を設けます。（10分程度）

（デジタル市役所推進室担当課長が対応）

2 実施内容（主なポイント）

（1）働き方改革を促すオフィスコンセプトの導入

① チームビルディング

グループアドレスによる部課長席の廃止とチームでのフラットな議論を可能にする執務室内のチームビルディングスペースの設置でチームワークを活性化

② 自律的に働ける環境

集中・ミーティング・リラックスなど、仕事内容や状況に応じて動きながら働ける多様な執務席の設置でチーム&個人の生産性向上

③ オープン&フレキシブル

局間の仕切りを外すことで、大規模災害時にもフレキシブルに対応でき、組織の再編や部署横断プロジェクトも簡単に適用できるオープンな執務スペースへ

（2）全職員が利用可能な共用コラボレーションエリアの導入

新たなアイデアが生まれる緩やかなつながりを生む仕掛けとして、全職員が自由に利用でき、来客にも対応できる共用のコラボレーションスペースを新設しました。



【問い合わせ先】

デジタル市役所推進室 [TEL:093-582-3020](tel:093-582-3020)

担当課長：須山 担当係長：永江

【参考：3階フロア全体イメージ】 ※内装イメージは「小倉城」

人と情報を交差させる共創ゾーンをフロア内に具現化
コミュニケーションを活性化させる仕掛け

マグネットエリア(業務支援エリア)

業務支援に必要なものを集約
スペースを有効活用し、偶発的なコミュニケーションも誘発

OPEN MTGエリア

災害対策時は専用エリア、平常時はOPEN MTGエリアとして活用
フリー運用にすることで空予約の無駄をなくし議論を活性化

受付

来客受付を集約し、
セキュリティ強化

OPEN MTGエリア

執務エリア中央は、人数に合わせて
フレキシブルに動かせる家具を採用し、多用途に活用
フリー運用にすることで空予約の
無駄をなくし議論を活性化

執務エリア

その日の業務内容に応じ場を
選びながら働くことで業務効
率の向上を図る
※グループアドレス

共用コラボスペース

庁内外問わず多用途に使えるコミュニケーションスペースは、
新しいActionを起こすきっかけを創る
※全職員共用のフリー運用にすることで空予約の無駄をなくし議論を活性化

■内装デザインコンセプト■

危機管理室の自然災害などから市民を守る**堅固なイメージ**と、政策局の北九州市の**ブレーン的なイメージ**から「**天守閣をイメージ**」した内装デザイン。執務フロアの内装は、壁面は「城壁の白」、柱は「瓦や柱の炭黑」、床は「石畳の黒や灰色」共有スペースは「庭園の緑や木々」を表現しています。